

事業所名：放課後等デイサービス 高志野ベース レフト 授業者自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫・改善点
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42%	58%		定員数に対するスペースは確保しているが、その日の利用人数により窮屈に感じることがある。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	10%		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	70%	30%		空間が広く柔らかい床材を使用しているが、トイレ付近が死角になりやすいので注意が必要である。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているかまた子供経ちの活動にに合わせた空間となっているか	90%	10%		
適切な支援の提供	⑤	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%	10%		
	⑦	放課後等デイサービス計画を作成する際児童発達責任者だけではなく子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			会議を通して子供の様子や今後の支援の仕方・方向性について検討している。
	⑧	活動プログラムを固定化しないように工夫しているか？	90%	10%		
	⑨	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた振り返りを行っているか。	58%	42%		長期休みの時などできない時もあるが、翌日のミーティングで話し合うようにしている。
	⑩	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされているか、自己決定をする力を育てる為の支援を行っているか。	70%	30%		時と場合によってはこちら側の移行になる事ある。
保護者への説明等	⑪	定期的に家族等から子育ての悩み等に対する相談に適応し、必要な助言、支援を行っているか。	100%			希望があれば隨時行っている。
	⑫	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90%	10%		送迎時を利用して行っている。
	⑬	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	70%	30%		
	⑭	子どもや保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%	10%		会議にて問題解決が出来るようにしている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫・改善点
保護者への説明等	⑯	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	10%		
	⑰	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	10%		
	⑱	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	90%	10%		
	⑲	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	10%		
非常時等の対応	㉐	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定し、職員や家族に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか。	70%	30%		家族への周知ができていないと思う。ホームページなどに掲載してみてはどうか？
	㉑	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90%	10%		
	㉒	アレルギーがある子供について医師や家族の指示書に基づく対応をおこなっているか。	70%	30%		
	㉓	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明を行っていますか？	100%			